

2023年7月26日(水)第四水曜祈祷会  
コリント人への手紙第一14章20～40節  
『秩序正しく行いさない』

背景:『預言と異言』 \* 預言…啓示された神の言葉。異言…解き明かしを必要とする言葉。

1. ( )は、人を育て、教会を成長させる。( )は、自らを成長させ、神との交わりに用いる。
2. 御霊の賜物は何よりも、愛の原則に従って、( )を成長させるために求められるべきである。
3. 教会では、異言で( )の言葉を語るより、皆のわかるように( )の言葉で話した方がよい。

本論:『秩序正しく行いなさい』

1. 「預言の特徴」(20～25節) \* 「兄弟たち」という呼びかけには親しみがこもっている。

①「悪事においては子どもであれ」「考え方においては大人であれ」とはどのような意味ですか。

→

②パウロは、異言にはどんな効果があり、預言にはどんな効果があると言っていますか。

→

③教会で皆が預言をするとはどういうことですか。未信者にどう影響をもたらしますか。

→

2. 「礼拝での勧め」(26～33節) \* 「すべてのことを成長に役立てるために」と勧めている。

①コリントの教会ではどんな礼拝がささげられていたと思いますか。

→

②パウロは、礼拝での異言について具体的にどのように言っていますか。

→

③預言についてはどのように言っていますか。パウロがそう言う根拠は何ですか。

→

3. 「女性に対する勧め」(33～40節) \* 女性にも祈りや預言の自由を認めている(11:2-16)。

①パウロはどうして「女の人には教会では黙っていなさい」と勧めたのですか。

→

②自分を預言者、あるいは御霊の人と思っている人に、パウロは何を勧めましたか。

→

③「すべてのことを適切に、秩序正しく行いなさい」とは、どういうことですか。

→

【適用と分かち合い】

①教会では、信じていない人や初めての人に対して、どうすることを心掛けていますか。

②礼拝やグループタイムでは、どういうことに気をつけようと思われませんか。

③教会では、すべてのことを適切に、秩序正しく行っているでしょうか。